

機械学習による

★機械学習の適切・効果的な利用方法を習得できる！
★適切なデータの準備ができるようになる！

1名分料金で
2人目無料

物理サロゲートモデル構築の考え方と実践

【LIVE配信】 セミナーURLはこちら→<https://www.rdsc.co.jp/seminar/250809>

- ◆日時：2025年8月25日（月）10:30～16:30
- ◆本セミナーのアーカイブ配信はございません。
- ◆受講料：1名につき55,000円（税込、資料付）

会員（案内）登録していただいた場合、通常1名様申込で55,000円（税込）から
・1名で申込の場合、**49,500円（税込）**へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計55,000円（2人目無料）**です。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】 近畿大学理工学部機械工学科 教授
和田 義孝氏

【習得できる知識】

- ・機械学習の適切・効果的な利用方法が分かる。
- ・代替モデル構築のためのデータに対する考え方を習得できる。
- ・データ取得のための実験計画を立てることができる。

【講演の趣旨】 機械学習はさまざまな技術要素が組み合わさって構築されています。最大の特徴は、個人で学習するためのプログラムや環境構築には金銭的コストがかかりません。つまり、興味を持って実践すれば必ず身につくスキルの1つです。

そこで、本セミナーでは、下記の3つを通じて自ら調査・試行ができるようになることを目的とします。

- ・機械学習を実際に試すこと（重要な基礎への理解）
- ・基本となる考え方を知ること
（アルゴリズム、ハイパーパラメータとよばれる変更・調整可能な対象も含む）
- ・データの大切さを理解し適切なデータの準備ができること

学習がどのように進行しているのかを知ることが機械学習の理解には必要です。方程式を解いていませんが、近似的にかつ繰り返して係数を更新する方法により解を得るために留意することがあります。また、データが良ければよい予測モデルを構築できます。つまり、良い性能を出すのはデータ次第です。演習を通じてこういった基本を理解できるのが本セミナーの特徴です。

【プログラム】

1. 本講義の目的
2. ニューラルネットワークによる機械学習の基本
3. 基本的な学習技術の習得
：三角関数の学習
4. 機械学習を適用するための注意
5. 活性化関数と最適化手法の比較
6. 早く収束させるための正則化技術
7. 物理問題のための正則化技術
8. 工学問題応用事例
：風力発電翼のサロゲートモデル構築事例など

※時間は目安です。また、休憩は適宜設定予定です。

※演習があるので、Google ColaboratoryなどのPythonの環境が利用可能な方、構築できない方や利用できない方でも受講は可能です。Jupyter Notebook形式でプログラムと実行結果は配布いたします。

『サロゲートモデル構築』 セミナー申込書 FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>